

# 2025年度 歩け歩け大会 「三溪園」

日時:令和7年11月16日(日)

午前8時30分～

集合場所:JR山手駅改札口外

主催:下倉田地区連合会

主管:文化体育部



主催 下倉田地区連合会

## 歩け歩け大会

主管 文化体育部

日時 2025年11月16日(日) 小雨決行ですが、荒天時は中止します。

集合 AM8:30 JR山手駅改札口外

参加費 無料 (往復の交通費は自己負担をお願いします。)

募集 30名程度 (小学生以下は保護者同伴をお願いします。)

行程 JR山手駅⇒和田山⇒本牧頂上公園⇒  
ペイタウン本牧五番街⇒三溪園

- ・三溪園までは徒歩約1時間、3.5km程度です。
- ・園内を90分程度散策します。ガイドの案内付きです。
- ・園内の”待春軒”で昼食後、解散です。ご自由に散策をお楽しみください。
- ・昼食は2600円程度のお食事を用意しています。(アルコールは自己負担)

申込方法 QRコードから専用フォームにてお願いいたします。

または、下記メールアドレスからの申込をお願いいたします。  
shimobuntai@gmail.com

・申込期間 10/25 13:00 受付開始～11/1終了  
ただし先着順で、定員になり次第締め切ります。

詳細は裏面をご覧ください。



11月16日(日)下倉田地区文化体育部の主管による『三溪園・歩け歩け』の催しが開催されました。

今回の三溪園『歩け歩け』の申し込みについては、申込当日にQRコードによる申込受付を実施したため、当日中に申込みが30名の受付に対して受付人数を超える申し込みとなり、受付に対応できない方もおられました。

当日は、曇りがちの天候で、今にも雨が降りそうな曇り空模様でしたが、山手駅前集合で、三溪園まで約40分程の行程を歩き、三溪園につきました。三溪園ではボランティアガイドにより約4班に分かれて1時間の行程で園内の概要について説明を受けながらの散策となりました。

ボランティアガイドの説明案内の終了後は、園内にある食堂での食事会が行われました。その後は、各自の自由行動により三溪園内を散策したり、そのまま帰宅の途に就くなど様々な対応がとられました。

三溪園の園内地図

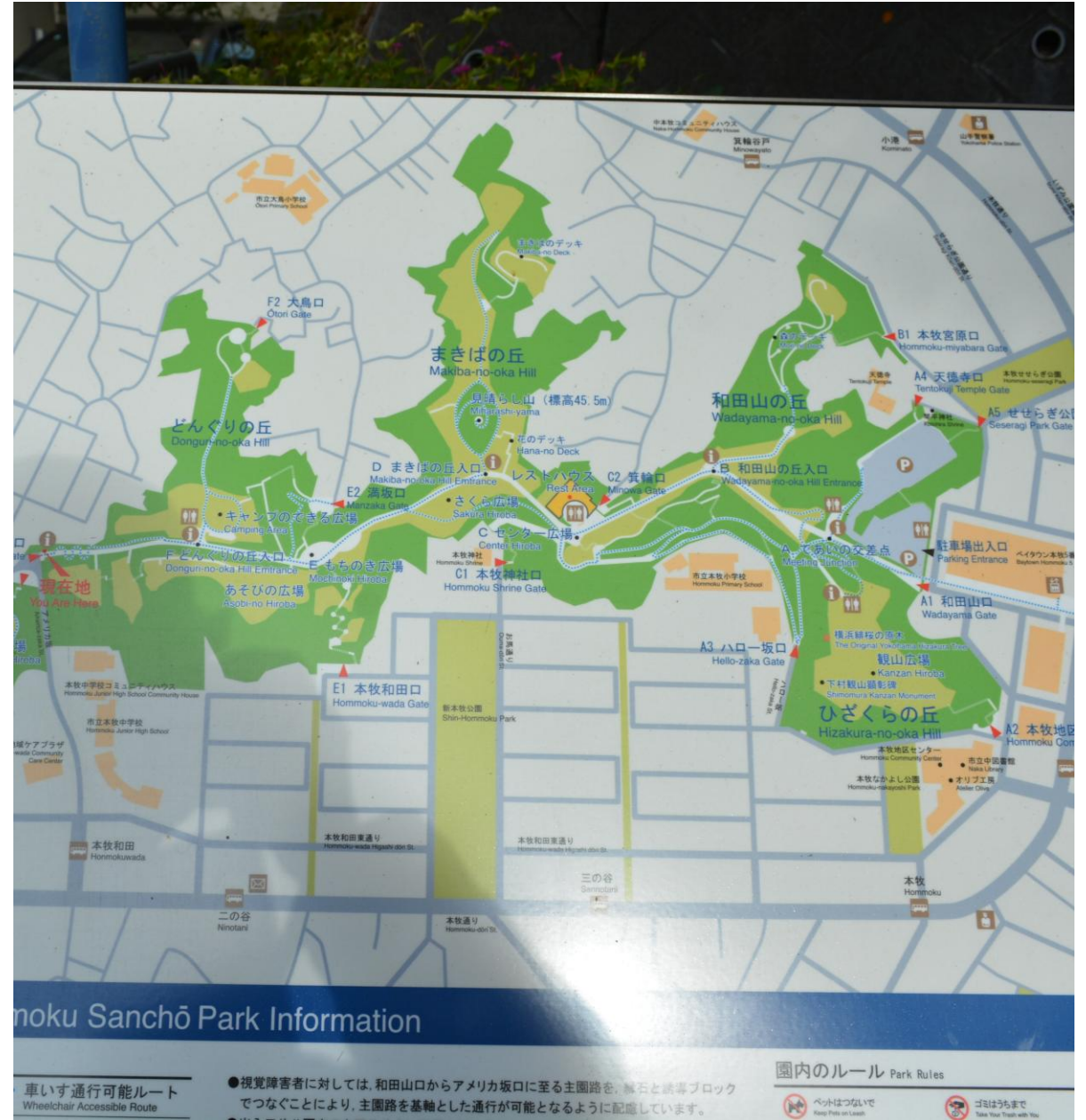


- ・園内の散策は、ガイドの案内付きです。約90分を予定しています。順路についてはガイドにお任せください。
- ・11時30分頃から”待春軒”で昼食となります。
- ・11月はあまり花は多く咲いていませんが、紅葉の時期であり、また菊花展が開催されているそうです。
- ・園内は全面禁煙です。また内苑内は飲食も禁止です。

- ・お帰りの際にバスを利用される方は下記の案内図を参照ください。
- ・正門に最も近い”三溪園”バス停からは、本数が少なく、ほぼ1時間に1本です。(横浜駅行き 土日祝のみ)
- ・中華街、桜木町、横浜方面へは三溪園入口、本牧、本牧原まで行くバスの本数は多くなります。
- ・根岸方面に行かれる方は、南門から出ると5分ほどでバス停があります。














建築年：江戸時代 宝永5 (1708) 年  
 移築年：大正時代

京都・平安神宮近くにある西方寺から移築された江戸時代の門です。原三溪が所有していた時代、一般に公開されていた外苑に対して、内苑はプライベートで使われていた庭園でした。その入口として置かれた建物がこの御門です。戦前、この奥にある臨春閣は豊臣秀吉が京都に建てた桃山時代の邸宅の建物とされ、通称「桃山御殿」と呼ばれていたため、この門も「桃山御門」の名で親しまれていました。

Constructed around 1708, the Gomon Gate was originally part of Saihoji Temple, near Helian Jingu Shrine in Kyoto. During the time Hara Sankei owned Sankeien, the outer garden was open to the public, while the inner garden was private for the Hara family. The Gomon Gate was relocated here in the early 1900s to be the entrance to the inner garden.

## 白雲邸 はくうんてい

### Hakuuntei

横浜市指定有形文化財  
 Tangible Cultural Property  
 designated by Yokohama City




建築年：大正9 (1920) 年

原三溪自身のプランにより、同郷の岐阜県の大工・山田源市に造らせた隠居所の建物です。

屋根は桧の樹皮を使った桧皮葺、庇の部分は薄い板を使った柿葺とし、室内には関西で一般的なサイズの京間畳が敷かれ、隣接する臨春閣に合わせた造りとなっています。

選び抜いた材料と伝統の工法による茶室の様式などを取り入れた数寄屋 すきや 造の様式ですが、イスとテーブルの生活を意識した洋間の談話室や電話室、シャワーのある浴室など近代的な要素もみられる住宅建築です。

This retreat for Hara Sankei was built in 1920 to his own design. Cypress bark is used for the roof and thin sheets of wood are used for the eaves. Inside, tatami mats of a larger size common in the Kansai region cover the floor, matching the style of the adjacent Rinshunkaku. Though in a teahouse style using traditional construction methods and carefully chosen materials, the house also incorporates modern elements at that time, such as a Western-style room with a table and chairs, a telephone compartment, and a bathroom with a shower.











下倉田  
赤い歩け  
中間

公園では危険・迷惑となるため  
犬のリードは必ず着用してください。  
お散歩のルールを守って楽しく遊ばせましょう。  
動物の糞尿は必ず持ち帰りましょう。  
お散歩のルールを守って楽しく遊ばせましょう。